

Title	近衛家胤及び近衛家久など近衛家歴代当主を中心とする、近世期堂上歌壇史の研究
Sub Title	Study of the history of the waka [31-syllable Japanese poems] written by lehiro Konoe and lehis a Konoe.
Author	緑川, 明憲(Midorikawa, Akinori)
Publisher	慶應義塾大学
Publication year	2021
Jtitle	学事振興資金研究成果実績報告書 (2020.)
JaLC DOI	
Abstract	<p>令和2年度は未曾有のコロナ禍の影響により、本来であれば江戸時代中期の公卿・近衛家久の自筆和歌資料を調査するために、ほぼ一と月に一度の割合で公益財団法人陽明文庫（京都市右京区）へ伺いたかったのであるが、これを行うことは叶わなかった。しかし、これまでに調査を行ってきた日記・文書類や和歌詠草に基づき、家久の誕生から没後の影響までを含む年譜の作成に取り組んだ。勿論、未見の資料は少なからず残されたままであるが、現時点で他には存在せず、しかも最も詳細であると断言できる内容の年譜を完成させ、慶應義塾大学国文学研究室が発行する『三田國文』第65号に発表した（162ページから221ページまで）。また、近衛家の歴代当主のうち、信尹、家胤、家久の自筆資料を入手したが、特に家久の和歌詠草は、記録ではその名が知られるもの実際にはその存在が長らく不明であった貴重な資料であることが判明、直ちにその内容を上記年譜稿に反映させることができたのは極めて幸いであった。</p> <p>本研究の計画では、まず『近衛家久公御詠草-翻刻と研究-』（仮題）を上梓することになったが、上記の通り本年度は思うような調査を行えなかったため、今後も継続して行っていく。また、詠草の出版に先立つ形で発表するとして家久の詳細な年譜は、前述のごとく無事に刊行することができた。</p> <p>Because of the influence of Corona, I couldn't go to the YOMEI Library in Kyoto. Therefore In this year's research, I was able to create and publish a chronology of lehis a KONOE, who was one of the nobles of the Edo era, based on the information that has been investigated so far.</p>
Notes	
Genre	Research Paper
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=2020000008-20200228

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

研究代表者	所属	横浜初等部	職名	教諭	補助額	300 (A) 千円
	氏名	緑川 明憲	氏名 (英語)	Akinori MIDORIKAWA		
研究課題 (日本語)						
近衛家熙及び近衛家久など近衛家歴代当主を中心とする、近世期堂上歌壇史の研究						
研究課題 (英訳)						
Study of the history of the Waka[31-syllable Japanese poems] written by Iehiro KONOE and Iehisa KONOE.						
1. 研究成果実績の概要						
<p>令和2年度は未曾有のコロナ禍の影響により、本来であれば江戸時代中期の公卿・近衛家久の自筆和歌資料を調査するために、ほぼ一と月に一度の割合で公益財団法人 陽明文庫(京都市右京区)へ伺いたかったのであるが、これを行うことは叶わなかった。</p> <p>しかし、これまでに調査を行ってきた日記・文書類や和歌詠草に基づき、家久の誕生から没後の影響までを含む年譜の作成に取り組んだ。勿論、未見の資料は少なからず残されたままであるが、現時点で他には存在せず、しかも最も詳細であると断言できる内容の年譜を完成させ、慶應義塾大学国文学研究室が発行する『三田國文』第65号に発表した(162ページから221ページまで)。また、近衛家の歴代当主のうち、信尹、家熙、家久の自筆資料を入手したが、特に家久の和歌詠草は、記録ではその名が知られるものの実際にはその存在が長らく不明であった貴重な資料であることが判明、直ちにその内容を上記年譜稿に反映させることができたのは極めて幸いであった。</p> <p>本研究の計画では、まず『近衛家久公御詠草—翻刻と研究—』(仮題)を上梓することにあつたが、上記の通り本年度は思うような調査を行えなかったため、今後も継続して行っていく。また、詠草の出版に先立つ形で発表するとした家久の詳細な年譜は、前述のごとく無事に刊行することができた。</p>						
2. 研究成果実績の概要 (英訳)						
Because of the influence of Corona, I couldn't go to the YOMEI Library in Kyoto. Therefore In this year's research, I was able to create and publish a chronology of Iehisa KONOE, who was one of the nobles of the Edo era, based on the information that has been investigated so far.						
3. 本研究課題に関する発表						
発表者氏名 (著者・講演者)	発表課題名 (著書名・演題)	発表学術誌名 (著書発行所・講演学会)	学術誌発行年月 (著書発行年月・講演年月)			
緑川明憲	「如是観院 近衛家久公年譜稿」	『三田國文』第65号(三田國文の会<慶應義塾大学国文学研究室内>)	令和2年12月30日			